

もっと知りたい
ふるさと

23

雨宮社の神々たち

国の無形文化財「御神事」で有名な「雨宮坐日吉神社」が雨宮の杜にありやす。鎮座されている神々は七柱と、末社の一八柱でござす。今回はその七柱の神々について紙面の許す限りご紹介しやしよ。

主宰神 オオナムジノカミ

七柱の神々の中心が「オオナムジ」でござす。この神は五つの名前がありやして、アシハラノシコ、ウツクシニタマ、ヤチホコ、一番有名なのが大國主命でござす。天照大神の弟「スサノヲ命」の六代後の神がオオナムジ神でやす。たいそう良く遊び、良く学び良く仕事をしたそうでござす。その上お人柄（神柄）が、良かったそうで、威張らず、驕らず、相手のことを考え組織力を発揮したと聞いてやす。「因幡の白ウサギ」でも意地悪な兄たちに比べ、赤裸の兔を助けた話ありやすな。性格の良さから女性

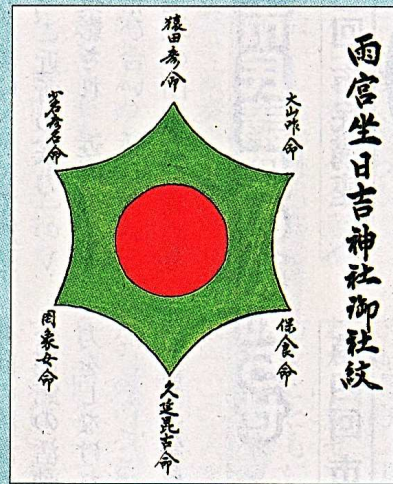


雨宮坐日吉神社鳥居

にモテて、五人の妻がいて一八一人の子がいたと古事記にありやす。少名彦那命 スクナヒコノミコト 大國主命を話すのに少名彦那命の説明がないわけにはいかね。組織で行動する時の相棒でやす。古事記を見ると、信頼できる友がいると大事をなすとか。いくら力があっても、

一人では何も出来まいと教えて

やす。「一寸法師」の話の元は、少名彦那命のことです。別れる時には大國主命は泣いて悲しんだとか。肉親の他の同性にこういう方が居るかどうかが男としての勝負……



雨宮坐日吉神社御社紋

六角星の中心に赤い丸を配し、その頂点に「大國主命」の文字を配す。また、各頂点に「オオナムジノカミ」「タケミナカタノカミ」「ウケノカミ」「オシチノカミ」の文字を配す。

社、拝殿前で猿田彦命を御指名参拝をどうぞ。

保食命 ウケモチノミコト

「古事記」と「日本書紀」では発音が同じでも異字を使う神が多い。古事記では(大宜津比売)オホゲツヒメ。あの大神、イザナミ・イザナギの子。農産物、食物の神と理解して。暴れん坊の「スサノヲ」が高天原から追放され、さ迷う時、ウケモチの命に食物を乞うた。鼻や口、尻からも美味しい食物を取り出している作りの作り調えもてなした。穢して作ったと思ったスサノヲは

保食命を切り殺した。その体から五穀の種や蚕が生まれたとされやす。農業や食糧関係にかかわる方々は保食命を御指名して参拝下され。事件後のスサノヲはどうなつたか？また、お茶を飲みながら話しやしよ。

罔象女命 ミズハメノミコト

イザナギとイザナミは仲の良い夫婦であった。人生(神生)にも波乱があるようで、二柱に大きな事故がおこる。このことを話す紙面はない。つまりイザナミは死に直面する。病の苦しみの中で嘔吐した中身や糞から次々と神々が生まれる。そのイザナミの尿から生まれたのがミズハメでやす。古事記では尿のことを「湯まり」と記している。

お前様方、普段使っている「小便をまる」という言葉はここから来やした。幼児の「おまる」もそうやす。水を掌る神でござす。もう一柱、久延毘古(クエビコ)は知恵の神様。お天神さんより、もつともつと古い学問の神様でござす。

大山咋命(オホヤマクイノミコト)については、申し訳ありしね、依頼された紙面が終ちやいやした。こころで勘弁しておくんとして。そんじや又……

雨宮 北澤 悦男